

## 観梅祈願祭

と き：令和2年3月6日（金）11時～

と ころ：結城神社 津市藤方 2341

TEL 059-228-4806

しだれ梅の咲く境内で幸せ祈願とお練り

※先着20名様、拝殿でご祈祷を受け、梅園を散策していただけます。（受け付けは10時半より案内所まで）



H31年3月1日

## 寺社ちょっといい話

### ■社頭にて



高山神社 宮司 多田久美子

近年の「ご朱印ブーム」、当社においても染筆しない日はないと言ってもいい程、参拝者は訪れています。

私が奉職した頃（約25年前）は、染筆をする日のほうが少なく、年齢層も現在に比べたら中高年が大半でした。

ある日唐草模様の風呂敷包みを背にした老人が参拝され、風呂敷からくるくる巻いた画仙紙を出して、「掛軸にするので、この位置に御朱印をいただきたい。」と希望された。染筆する位置を間違わないよう緊張しました。「床の間に

掛けて毎日眺めたりするのかな。」と、老人の後姿を見送り乍ら想像したことを思い出します。

平成20年高虎公入府400年記念の年あたりから、歴史好きの女子を「歴女」というようになり、歴女ブーム、戦国武将ブーム、城郭ブーム。また津城址が「続日本100名城」に選ばれ、そのスタンプラリーも始まるなど、全国から津城跡を訪れる人が増えてきています。

続100名城でおとずれた人の中には御朱印を希望される人もあり、寿老神も染筆する時もあります。“伊勢の津七福”を巡拝することで、できれば七寺社を参拝していただきたいのですが、先を急がれるのでしかたがないと残念な思いをすることもあります。

「津」の歴史を知って欲しい、その思いで船出した「伊勢の津七福神」。参拝する層は老若男女さまざまですが、近ごろは船出当初より若い層が目立ってきているのではと感じます。

また、夏休みには小学生の自由研究にと七福神巡拝を選び、各寺社の様子や歴史、感想を写真や絵も駆使して作品にしています。そして夏休み後の社会科展に学校代表で出品される児童もいます。若年層や子ども達が巡拝をするということは、七福神開創に至った津の歴史を知って欲しいとの願いが一つ一つ花開いているものではないかと思えます。



### 高山神社（こうざんじんじゃ）

藤堂高虎を祀る。津市発展の礎を築かれた開祖として「高山居士」のおくり名に由来。

津市の商工業の守護神、市民の氏神として、現在も広く信仰を集めています。

■6月30日15時より夏越の祓いと茅の輪神事

■10月第2土曜 津まつり子供みこし

## ■人生百年を生きる知恵

津市 豊里クリニック院長 浦和 健人

最近、平均余命が10年で2～3年ずつ伸びているようで、周りがほとんど百歳以上という時代が必ず来ると思います。しかし、現在の超高齢者では所謂健康寿命を過ぎた要介護老人が多く、元気で長生きしているとは申せません。



健康寿命が伸びて、百歳の元気高齢者で埋め尽くされるというのが私たちの日頃取り組んでいる地域包括ケアシステムの究極の目的でもあります。では、元気で長生きするにはどんな心がけが必要でしょうか。

**結論から申します。** 医療や介護を受けていても、自分の許す範囲で何らかの仕事を持ち、他人のお世話を少しでもできる生活を持っている、所謂元気老人になることです。

それにはそれぞれの老人の能力に応じた仕事場を社会が作ってあげなければなりません。これが本当の働き方改革です。

地域包括ケアシステムの構築とはお子さんや若い人だけでなく、元気老人も自分のできる範囲で地域に何らかの役割を果たす、そんな年齢を超えた地域のコミュニケーションの場を地域の皆で生み出そうとするものです。

それにはまず、同級生や年齢の近い隣人と集まって楽しむ場に自ら飛び込んでいく積極的姿勢が重要になります。

また、老化は足と脳の衰えから来ます。肉体的には、足と頭が衰えないように、よく歩き、よく考える習慣を持ち続けましょう。

自分の身近な高齢化社会の一員として、何らかで積極的に関わり、元気をもち続けることを心がけていただければ、きっと元気で百歳を迎えられると思います。



## ■京都・都七福神巡り② 2019年10月28日

### ■東 寺 毘沙門天

当山の毘沙門天は弘法大師が入唐の際に感得されたものである。菅原道真公もこの毘沙門天に祈願されたことから後に文章博士になる道が開けたという。



### ■行願寺・革堂 寿老神

当寺は平安時代初期、行円上人の開基で、観音霊場西国三十三カ所の内第十九番の札所です。古来より寿老神様御真言「オンバサラユゼイソワカ」を日に三度唱えると福寿吉運が授かると言われております。

### ■日蓮宗妙円寺・松ヶ崎大黒天

古くより、「松ヶ崎の大黒さん」と親しまれ松崎山妙円寺と号す。日蓮宗に属し、元和2年(1616)の建立である。



### ■天台宗赤山禅院・福祿寿

当院は慈覚大師の御遺言によって創建され、天台宗総本山、比叡山の由緒高い塔頭である。福祿寿神は、長頭白髭老道士のお姿で親しまれ、経巻結んだ杖を携え、鶴を従えていられる。



帰りのバスの中、七福神クイズで盛り上がりました。京都の七福神巡りを終え、歴史ある寺々に人々が心を寄せていく未来を見ました。



## 伊勢の津七福神 七寺社 2020年の行事案内

津観音寺：毎月1日護摩供養 毎月18日は『津観音縁日にぎわい市』 7月7日七夕祈願祭

円光寺：6月中旬～7月初旬 沙羅双樹（夏ツバキ）散策 11月末～12月初旬 紅葉

初馬寺：3月3日（よみや）初午会式 3月4日（本日）厄除け開運祈願

7月21日、8月2日（土用丑）木瓜加持 諸病平癒健康祈願

高山神社：6月30日夏越の大祓い 10月第2土曜 津まつり子供みこし

結城神社：2月中旬～3月初旬しだれ梅祭 3月6日伊勢の津七福神 観梅祈願祭 5月1日～3日 例大祭

安楽寺：8月17日夏祭り 盆踊り

四天王寺：毎週日曜日 坐禅会（午前8時～9時頃）月末火曜日 禅茶会（午前9時半～正午）（会食付2,000円）

写経会 第1火曜日（午前9時半～12時）（1回 1,000円） 座禅会毎週日曜8時から

12月2日（水）伊勢の津七福神開創8周年法会

## 伊勢の津七福神 友の会のご案内

伊勢の津七福神が津市に開創して8年目を迎えました。

巡拝の方も5,050名（1月末）を越えました。

今200名の友の会会員の皆様のご協力のもと、この先も歩みを進めて行きたいと思っています。

是非ともこの活動に御賛同くださり、巡拝・感謝の心を育て、町おこしの夢を見てもみませんか。（会費納入をされた方にも振込用紙が同封されますことお許しください）

会員の方には年3回、友の会便りが届きます。特典もございます。

会費：1,000円/年間 金融機関：郵便局

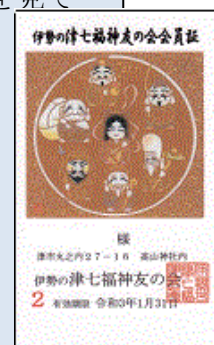
郵便振替口座：00820-8-123136 口座名義：伊勢の津七福神友の会

《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内27-16 高山神社内

電話：059-225-8558

URL：<http://isenotsu7fukujin>



### 満願成就された方への記念の品

満願された寺社様の七福神の水晶玉が入ったストラップを進呈いたします。

7つ集めてみませんか？

作成は安楽寺さま

白色：円光寺 うす紫：高山神社 こい紫：安楽寺 もも色：結城神社

だいだい色：初馬寺 うす黄色：津観音寺 明るい緑：四天王寺



編集後記：ご意見、原稿お寄せ下さい。

3月6日しだれ梅の庭園を散策しましょう！

池上 [kanon@nifty.com](mailto:kanon@nifty.com)

発行：伊勢の津七福神友の会事務局

〒514-0033 津市丸之内27-16 高山神社内